

2011年5月9日

日本情報経営学会中部支部
組織学会中部支部 共催

「知の社会的構築」研究報告・講演会のお知らせ

知識を生み出し、戦略的に利用し、革新を起こすことは、経営にとって重要な課題であると同時に、社会変動へもつながる重要な契機です。こうした知の構築・活用プロセスは組織のコンテキストや制度に影響されるとともに、組織的コンテキストは知識を活用する日々の実践を通じて問い直されます。したがって、情報技術の設計・活用においても、こうした知識とコンテキストの相互依存関係は不可欠の視座です。

このような問題意識の下で、『日本情報経営学会誌』Vol.31, No.4は「知の社会的構築」を特集として発刊されることとなりました。日本情報経営学会中部支部では、この学会誌の発刊と連動して研究会を開催する企画を進めてきました。この度、組織学会中部支部との共催で、名古屋大学の岸田民樹教授の基調講演と米国 San Jose State University の Cook 教授の招待講演を中核とする「知の社会的構築」研究報告・講演会（別紙要領）を開催することとなりました。ふるってご参加のほどよろしくお願いたします。なお、Cook 教授の講演は英語で、それ以外の報告・講演は日本語で行います。

招待講演をしていただく Cook 教授は、MIT のエドガー・シャイン教授の下で Ph.D. を取得し、ゼロックス社パロアルト研究所でのコンサルティング・リサーチャーの経歴もあり、社会技術変化や知識と実践の関係などの研究成果は高く評価されています。特に、*Organization Science* 誌に掲載された "Bridging Epistemologies" は野中先生の知識創造理論を批判するだけでなく、それを発展させた論文として高い評価を得ています。

参加費は無料です。より多くの方に講演を聴いていただきたいので、学会員以外の方の参加も認めております。ご興味をお持ちの他の学会の方にも、是非ご紹介下さい。

日本情報経営学会中部支部長 内藤 勲
組織学会中部支部長 岸田民樹

「知の社会的構築」研究報告・講演会

日 時：平成23年6月11日 土曜日 13:30～18:00

(受付開始 13:00)

場 所：愛知工業大学 自由ヶ丘キャンパス

(地下鉄名城線 自由ヶ丘駅下車 南へ 徒歩1分)

〒464-0044 名古屋市千種区自由ヶ丘2丁目49-2

<http://www.ait.ac.jp/access/jiyugaoka.html>

プログラム：

開会挨拶 13:30	日本情報経営学会中部支部長 内藤 勲(愛知学院大学)
研究報告会 司会:愛知学院大学 飯島康道	
報告① 13:35 ~ 14:25	静岡県立大学 浦野充洋／神戸大学 松嶋 登 「制度の作動:官僚制が生み出すイノベーション」
報告② 14:30 ~ 15:20	愛知学院大学 内藤 勲 「学習する組織から学習する社会へ」
報告③ 15:25 ~ 16:15	一橋大学 島本 実 「合理・組織・言説:太陽光発電の三ケース分析」
(休憩 10分)	
講演会 司会:名古屋大学 涌田幸宏	
基調講演 16:25 ~ 17:05	名古屋大学 岸田民樹 「組織化と進化のプロセス」
招待講演 17:10 ~ 17:50	San Jose State University Prof. S. D. Noam Cook “The Cultural Generation of Practice: Making Knowledge Shareable”
閉会挨拶 17:50	組織学会中部支部長 岸田民樹(名古屋大学)

日本情報経営学会中部支部

組織学会中部支部

共催

愛知学院大学経営管理研究所

後援

お問い合わせ 愛知学院大学 経営管理研究所 幹事 古澤和行

TEL 0561-73-1111 (大学代表) 経営管理研究所まで